

2024年度前期科目授業評価

アンケート質問項目

〈 講義 〉	〈 演習 〉	〈 実習 〉
1 講義はシラバス(授業概要)に沿って行われていた。	1 演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1 教員は学生の理解や反応をみながら指導していた。
2 講義の内容はわかりやすかった。	2 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	2 教員は学生個人の大学での学びを理解して指導していた。
3 講義で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	3 教員の指導は、実習目標の到達に活かせるものであった。
4 講義では板書、映像資料、プレゼンテーション資料などの使い方が効果的だった。	4 実施する実技の組み合わせは適切だった。	4 教員は学生を尊重しながら指導にあたっていた。
5 講義の進め方(速さ)はちょうどよかった。	5 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5 教員は相談に誠実に応じた。
6 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況を作っていた。	6 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	6 教員と実習指導者の連携が取れていた。
7 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7 学生の安全を保つために指示が十分であった。	7 実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。
8 講義に集中できる環境が保たれていた。	8 演習時の(グループ等の)人数はちょうどよかった。	8 実習指導者は、受持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。
9 講義に関する機器・備品等が適切に準備されていた	9 演習の時間配分は適切だった。	9 実習指導者の指導は、実習目標の到達に活かせるものであった。
10 私は、事前学習および復習含め、講義に意欲的・積極的に取り組んだ。	10 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10 実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。
11 私は、マナーを守って講義を受けた(マナーに反すること → 私語、携帯、飲食、化粧、トイレ、離席、着帽 など)	11 教員は学生の質問や発言に誠実に対応した。	11 実習指導者は、相談に誠実に応じた。
12 私は、この講義で充実した学びができた。	12 私は事前学習をして演習に臨んだ。	12 私は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。
13 この講義の評価方法(課題の量・頻度、シラバス記載の評価基準)は、講義内容に見合っていると納得ができる。	13 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	13 私は、グループメンバーと協力して実習に臨めた。
14 良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。(自由記載)	14 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	14 私は、自ら指導・支援を求めることができた。
	15 この授業の評価方法(課題の量・頻度、シラバス記載の評価基準)は、授業内容に見合っていると納得ができる。	15 私は、体調管理ができた。
	16 良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。(自由記載)	16 この授業の評価方法(課題の量・頻度、シラバス記載の評価基準)は、授業内容に見合っていると納得ができる。
		17 良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。(自由記載)

評価

【評価基準】 5:非常にそう思う 4:そう思う 3:どちらともいえない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

教養教育科目		専門基礎教育科目		専門教育科目					
科目名	評価	科目名	評価	講義		演習		実習	
				科目名	評価	科目名	評価	科目名	評価
キリスト教概論A	3.77	人体の形態と機能 I	4.41	看護学概論	4.49	生活行動援助論 I	4.63	基礎看護学実習 I	4.51
キリスト教概論B	4.64	生化学	4.01	看護技術の基礎	4.46	ヘルスアセスメント	4.60	地域看護学実習	4.48
聖書 II	4.56	疾病・治療学 II	4.39	地域看護学概論	4.44	診療の援助技術論 I	4.58	国際看護実習 I	4.42
聖書 III	4.24	薬理学	4.56	産業保健	4.24	在宅看護論 II	4.28	国際看護実習 II	
キリスト教音楽 I	4.31	健康教育論 II	4.53	学校保健	4.25	慢性期看護論	4.08	総合看護実習	4.81
哲学	4.85	保健統計演習	4.52	緩和ケア・終末期看護論	4.49	女性の健康問題と看護	4.30	/	
心理学	4.43	疫学	3.94	子どもの特徴と生活と健康	4.67	看護展開演習 II	4.17		
スポーツ科学 I	4.43	保健医療福祉行政論	3.33	健康問題をもつ子どもと看護	4.31	卒業研究 I			
教育学	5.00	保健医療社会学	4.34	女性の特徴と生活と健康	4.67				
社会学	4.69	ファシリテーション	4.57	こころと健康	4.08				
ボランティア活動論	4.69			こころを病む人と看護	4.18				
基礎学習セミナー	4.35			国際看護論	4.62				
情報科学	4.13			国際保健医療問題	3.88				
物理学	4.47			スピリチュアルケア	4.38				
生物学	4.87			看護研究の基礎	3.98				
英会話 I	4.42			災害看護学	4.15				
英語 II	4.57			看護診断論	4.88				
				看護管理学	4.9				
総合評価	4.50	総合評価	4.26	総合評価	4.39	総合評価	4.38		総合評価

《保健師課程カリキュラム科目》

【評価基準】 5:非常にそう思う 4:そう思う 3:どちらともいえない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

専門教育科目					
講義		演習		実習	
科目名	評価	科目名	評価	科目名	評価
公衆衛生看護学原論	4.35	公衆衛生看護活動展開論 II	4.14	公衆衛生看護学実習 I	4.36
地域ケアシステム論	4.08	対象別支援技術論	4.67	公衆衛生看護学実習 II	4.25
健康危機管理論	4.11			公衆衛生看護学実習 III	4.27
組織協働活動論	4.24				
公衆衛生看護活動展開論 I	4.31				
総合評価	4.22	総合評価	4.41	総合評価	4.29